



2022年5月13日

各 位

会 社 名 乾汽船株式会社
代表者名 代表取締役社長 乾 康之
(コード番号：9308 東証スタンダード)
問合せ先 執行役員 総務・経理担当
加藤 貴子
(TEL. 03-5548-8613)

当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社は、東京証券取引所が定める「コーポレートガバナンス・コード」に基づき、取締役会の実効性に関する分析・評価を実施いたしましたので、その結果の概要を下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 評価の方法

全ての取締役及び監査役に対し、取締役会の実効性に関する評価の趣旨等を説明の上、質問票を配布し、全員から回答を得ました。そのうえで、第三者専門機関による当該回答の集計・分析を踏まえ、取締役会における討議を通じ、当社取締役会の実効性に関する分析・評価を実施いたしました。

なお、評価を実施した大項目は以下の通りです。

- ① 取締役会の役割・機能
- ② 取締役会の構成・規模
- ③ 取締役会の運営
- ④ 監査機関との連携
- ⑤ 社外取締役との連携
- ⑥ 株主・投資家との関係

2. 評価結果の概要

当社取締役会は、評価を実施した上記の各項目において概ね適切に機能しており、取締役会の実効性は十分に確保されているものと考えております。「①取締役会の役割・機能」としては、中長期的な経営戦略・経営計画等に関して詳細かつ建設的な議論が行われており、その内容は質・量ともに充実していると評価いたしました。その理由としては以下2点が影響しているものと分析しております。

(a) 審議充実のための取り組みが充実していること

「③取締役会の運営」 : 事前情報提供の充実、取締役会以外の情報収集・協議機会の創出等

「⑤社外取締役との連携」 : 独立社外取締役による会合や業務執行者との意見交換会開催等

(b) 社内外取締役において当社に対する機関投資家の認識・評価等に関する共通理解があること

「⑥株主・投資家との関係」 : 社内外取締役による機関投資家との継続的な対話実施等

「②取締役会の構成・規模」としては、引き続き「当社の経営方針・事業特性等と照らし必要なスキル・経験等を有する取締役で構成され、そのバランスも十分である」と評価いたしました。これらを踏まえ、取締役会においてはオープンで活発な議論が展開されているものと分析しております。

「⑥株主・投資家との関係」としては、上述の通り、当社代表取締役社長及び独立社外取締役による主要な機関投資家との中長期的な経営戦略やコーポレートガバナンスに関する対話を行い、それら内容につき、取締役会に適切に共有されていると評価いたしました。株主・投資家との建設的な対話は、当社の中長期的な企業価値向上に資するとの共通理解を得ており、今後もその取り組みを推進して参ります。

なお、これまでの当社取締役会の実効性評価結果より課題として挙げている「事業ポートフォリオの在り方」「代表取締役の後継者計画」については、過去・現在・将来の経営環境・方針等をふまえて継続的に審議しておりますが、今後も充実すべき審議事項として認識いたしました。

3. 今後の対応

当社取締役会は、本評価結果を踏まえ、取締役会全体の実効性を更に高めていくための継続的な取り組みを行ってまいります。また、2020年8月に公表した現中期経営計画「中期経営計画Beyond120」の実現・達成に向け、その進捗を適切にモニタリングしてまいります。

以 上